

# 吉舎中学校区 CS 便り 令和 7年 12月号

## 吉舎中学校区 三次市地域学校協働活動推進員より

岡田 アントニールイス(海田原で事業を営んでいます)

こんにちは。吉舎中学校区の地域学校協働活動推進員を務めています、岡田アントニールイスです。

ふだんは海田原で事業をしながら、家庭では長男が吉舎小学校2年生、保育所に娘が2人います。さらにありがたいことに、令和8年(2026年)2月には新しい命を迎える予定です。家族が増えるほど、地域や学校との関わりも自然と増えていきます。その中で「自分にできることは何だろう」と考えるようになり、推進員として関わらせていただくことにしました。



## 吉舎は“学びがつながるまち”

吉舎には保育所から高校までがそろっています。子どもたちが「吉舎で学びたい」「吉舎で暮らしたい」と思ったとき、地域の中で学びを続けられる環境がある。将来いったん外に出ても、「やっぱり吉舎に戻りたい」と思ったとき、吉舎や近郊にはさまざまな事業所があり、人と仕事がうまくつながれば“戻ってくる道”もつくれる。そんなまちの力を、子どもたちの未来につなげていきたいと思っています。



「きさ教育の日」  
令和7年11月14日



吉舎小学校「学習発表」



全体合唱「花は咲く」  
伴奏：吉舎中学校  
日彰館高校  
吹奏楽部



吉舎中学校「全校合唱」

八幡小学校「八幡子ども太鼓」

# これから大きなチェンジを、希望に変えて

これから吉舎の学校は大きく動きます。

- ・ 令和8年(2026年):八幡小学校と吉舎小学校が再配置
- ・ 令和10年(2028年):甲奴中学校と三良坂中学校と吉舎中学校が再配置

「統合する／される」という見方ではなく、\*\*“一緒に新しい学びの舞台をつくる”\*\*ことが大切だと感じています。

## 八幡小学校で感じた、地域と学校の強さ

私は、閉校を迎える八幡小学校にできるだけ足を運びました。特に印象的だったのがしめ縄作りです。地域の皆さんのが丁寧に教えてください、私も参加しました。毎年取り組んでいる子どもたちは本当に上手で、私のしめ縄は…正直お粗末でしたが、最後に“プロの手直し”が入ると見違える仕上がりに。あの瞬間は感動しました。

その場には笑いがあり、会話があり、世代を超えたつながりがありました。地域の力が入ると、学びはこんなに豊かになるのだと実感しました。



## 地域の“語り”は、未来への贈り物

しめ縄作りの時間には、地域の方々が昔の八幡小学校の様子をたくさん話してくださいました。聞くだけでも貴重で、胸に残る話ばかりでした。こうした“語り”も、学校と地域をつなぐ大切な要素だと感じ、推進員としての役割を改めて実感しました。

## これからも、学校の応援団を増やしたい

閉校は寂しい出来事です。でもその先には、子どもたちの出会いが増え、学びが広がり、もっと豊かな人間関係が育つ未来があると信じています。「何か手伝えることがあれば協力したい」——その気持ちがあるだけで、学校にとっては大きな支えです。私も推進員として、皆さんと学校が自然につながるきっかけを少しずつ増やし、吉舎の学びの舞台をみんなでつくるお手伝いをしていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



三次広域商工会青年部主催  
八幡小思い出づくりイベント  
令和7年12月15日

吉舎中学校区 地域学校協働活動推進員

岡田 アントニールイス